

IIAS NEWSLETTER

International Institute for Advanced Studies

44

September 2005

 財団法人
国際高等研究所

<http://www.iias.or.jp>

index

報 告

研究活動報告 (2005年7月～8月)

科研費特定奨励費の交付決定

国際フォーラム「中国民法典立法～21世紀民法モデル研究～」を開催 (8/26～27)

第7回「コンピューテーショナル・マテリアルズ・デザイン(CMD)」
ワークショップを開催 (9/6～10)

ドイツ・フンボルト財団との共催研究集会を開催 (7/27～31)

知的財産理解度サーベイの実施

フェローの活動

参加者募集

公開講演会を2件開催予定

IIASカレンダー ●研究活動 (2005年9月～2006年3月)

●公開講演会

お知らせ ●所内案内板を設置

報 告

研究活動報告 (2005年7月～8月)

研究プロジェクト	開催日	研究代表者	参加者数
電子系の新しい機能	7月1日(金)	新庄 輝也	8
学習の生物学	7月2日(土)	星 元紀	7
先端考古科学	7月7日(木)～11日(月)	足立 裕彦	5
量子情報の数理	7月8日(金)～9日(土)	大矢 雅則	14
産学連携の知的財産法モデル「技術移転と産学連携」	7月15日(金)	北川 善太郎	19
リスク問題に対する心理学的アプローチ「安全と安心」再考*	7月17日(日)～18日(月)	木下 富雄	4
ドイツ・フンボルト財団との共催研究会「日独における学問と文化」	7月27日(水)～30日(土)	高橋 輝暁	52
スキルの科学	7月29日(金)～30日(土)	岩田 一明	15
多元的世界観の共存とその条件～閉ざされた世界から開かれた世界へ～	8月2日(火)～3日(水)	石川 文康	7
歴史哲学の再興*	8月5日(金)	川北 稔	6
共同研究の法モデル	8月8日(月)	北川 善太郎	4
21世紀の宇宙開発・宇宙環境利用の問題～人文社会科学からのアプローチ～	8月10日(水)	木下 富雄	10
高度計測技術の発展と埋没	8月12日(金)	本河 光博	20
隙間～自然、人間、社会の現象学～	8月17日(水)～24日(水)	鳥海 光弘	26
『一つの世界』の成立とその条件～鎖国時代の日本とヨーロッパ～	8月18日(木)	中川 久定	6
学習の生物学	8月23日(火)	星 元紀	9
共同研究の法モデル「中国民法典立法～21世紀民法モデル研究～」	8月26日(金)～27日(土)	北川 善太郎	32

*フェロー研究会

報告

科研費特定奨励費の交付決定

「人類の調和的発展のための問題解決の統合システム創造に係る基礎研究」を包括的課題として交付申請を行っていました平成17年度科学研究費補助金特定奨励費について、文部科学省から8月30日付で交付決定の通知がありました。交付される補助金額は3,900万円（前年同額）です。本年度は3年計画の最終年度で、16課題研究、フォローアップ研究等の多様な研究活動が実施されているところです。

報告

国際フォーラム「中国民法典立法～21世紀民法モデル研究～」を開催（8/26～27）

北川善太郎副所長を研究代表者とする課題研究「共同研究の法モデル」では、今年度「21世紀民法像」、特に「中国民法典編纂」に関する比較的研究を行っており、8月26日、27日に高等研で国際フォーラムを開催しました。中国民法典立法に関係している民法研究者5名を中国から招へいたフォーラムには、滞日の中国人研究者を含む研究者33名が参加し、北川副所長の問題提起「21世紀の民法モデル研究」に続いて、「中国民法典制定に関する基本問題」、「人格権法」、「契約法」、「物権法」の各セッションで活発な意見交換が行われました。参加した日中法学者は、このフォーラムの継続を希望して共同覚書を作成しました。なお、このフォーラムは財団法人村田学術振興財団平成17年度研究助成事業として開催されました。



報告

第7回「コンピューテーショナル・マテリアルズ・デザイン(CMD)ワークショップ」を開催（9/6～10）

本ワークショップは、高等研及び大阪大学の共催により9月6日～10日に開催されました。ワークショップは、大学院生、ポスドク等の若手研究者を対象に、コンピューテーショナル・マテリアルズ・デザインの可能性を展望するとともに、その基本となる最先端の計算手法を学び、実際にマテリアルズ・デザインを体験することにより、物質科学の新しいパラダイムに対応できる基礎能力をつけることを目的としています。61名が計算機ナノマテリアルズデザイン・チュートリアル・コースの基礎・専門・先端3コースに分かれて参加しました。実行委員長は赤井久純大阪大学大学院理学研究科教授。

報告

ドイツ・フンボルト財団との共催研究集会を開催（7/27～31）

2003年3月に高等研とドイツ・フンボルト財団（Alexander von Humboldt-Stiftung）が締結した覚書に基づく共催事業として、「日独における学問と文化～ゲルマニスティックの視点から～」国際研究集会（フンボルト・コレーク）が7月27日～31日、ドイツ人研究者6名を含む52名の研究者が参加して高等研で開催されました。研究代表者は高橋輝暁立教大学文学部教授。

報告

知的財産理解度サーベイの実施

高等研特別研究として実施中の「産学連携の知的財産法モデル」研究（科研費基盤研究（B））は、産学連携における知的財産法上の諸問題とその問題解決モデルを明らかにすることを目的としています。産学連携問題は広く耳目を集めていますが、大学の知的財産政策はトップダウン型の画一的なものが多く、知的財産を創出する研究者の理解を十分得ているのかという課題があります。

そこで、種々の共同研究体が集まる高等研の特色を活用し、研究者の知的財産理解に関する法実験「知的財産理解度サーベイ」を実施しています。既に「電子系の新しい機能」研究会、「高度計測技術の発展と埋没」研究会等でサーベイを行い、小委員会で検討しています。今後、高等研の多くの研究会でもサーベイを実施し、最終的には、行政、研究者、大学知的財産管理者、学生の産学連携業務や自己学習に活用される「知的財産コード」の策定を目指しています。

本年度のフェローの方々が自らの研究活動を進めるために高等研に来所・滞在されました。その間、研究会を開催されたり、研究会に参加のために来所された研究者と交流されました。

足立裕彦フェロー（京都大学名誉教授）

「先端考古科学」の現地調査実施

川北 稔フェロー（大阪大学名誉教授）

「歴史哲学の再興」研究会開催

木下富雄フェロー（京都大学名誉教授）

「リスク問題に対する心理学的アプローチ『安心と安全』再考」研究会開催

黒田成幸フェロー（カリフォルニア大学サンディエゴ校名誉教授）

4月19日～4月28日、6月25日～7月5日滞在

後藤誠一フェロー（大阪大学名誉教授・大阪工業大学客員教授）

研究打合せの開催

小林俊一フェロー（東京大学名誉教授・東京農工大学監事）

8月11日～12日滞在、「高度計測技術の発展と埋没」研究会へ参加

沢田康次フェロー（東北大学名誉教授・東北工業大学工学部教授）

8月20日～27日、9月2日～3日滞在

「動物にmindが発生するための数理的条件」研究会開催

吉田 忠フェロー（東北大学名誉教授）

8月19日～9月3日滞在、研究資料の収集

ピーターH.デダリクス フェロー（ドイツ原子力研究機構固体物理研究所主任研究員・アーヘン工科大学教授）

7月30日～8月19日滞在、関係機関と研究打合せ

本年度フェローの佐々木丞平京都国立博物館館長は、公務ご多忙のため、フェローを辞退されました。

参加者募集

公開講演会を2件開催予定（高等研ホームページをご参照ください）

①時間は誰のものか～近世イギリス人の歴史観～

講師：川北 稔 高等研フェロー・大阪大学名誉教授

日時：2005年10月15日（土）14:00～16:00

場所：高等研レクチャーホール 対象：高校生以上の方 聴講：無料

現代人は、いつも時間に追われてあくせくしています。このような状況は、いつから見られるのでしょうか。かつてヨーロッパでは、もっとゆったりとした時間が流れていました。人間にとっての「時間」とは、「失樂園」から「最後の審判」までの、神が人間に試練を与えている期間のことだとみなされていました。ところが、宗教改革がおこり、歴史観が大きく変わると、むしろ「ときはカネなり」と言われ、時間は人間のものになってしまいます。神の時間が、人間の時間になる過程が、17世紀イギリスの「政治算術家」たちの歴史観によく現れています。



②学際領域としてのスキルの科学～よりよく生き、活躍するために～

講師：岩田 一明 高等研特別委員・大阪大学・神戸大学名誉教授他6名

日時：10月27日（木）9:50～17:00

場所：高等研レクチャーホール 対象：高校生以上の方 聴講：無料

この講演会は、2003年度から課題研究として実施している「スキルの科学」が本年度で最終年度を迎え、この3年間の研究活動の成果を広く一般に公開するために、本年度の研究活動の一環として公開講演会を行います。なお、講演は7テーマありますが、ご希望のテーマのみの聴講も可能です。



●研究活動(2005年9月～2006年3月)

開催日	研究プロジェクト	研究代表者
9月 3日(土)	分化全能性～普遍性と特異性～	原田 宏
9月 3日(土)	動物にmindが発生するための数理的条件	沢田 康次
9月 6日(火)～10日(土)	第7回コンピューショナル・マテリアルズ・デザインワークショップ	赤井 久純
9月10日(土)	産学連携の知的財産法モデル	北川 善太郎
9月17日(土)	ミトコンドリア再考	岡田 益吉・小林 悟
9月13日(火)～17日(土)	XXIX International Workshop on Condensed Matter Theories	赤井 久純
9月21日(水)～24日(土)	センサー論	鷲田 清一
9月24日(土)	スキルの科学	岩田 一明
9月30日(金)～10月 1日(土)	スキルの科学	岩田 一明
9月30日(金)～10月 1日(土)	多元的世界観の共存とその条件～閉ざされた世界から開かれた世界へ～	石川 文康
10月 7日(金)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
10月 8日(土)	開発途上国と日本人長期政策アドバイザー	橋本 日出男
10月 7日(金)～10日(月)	先端考古科学	足立 裕彦
10月11日(火)	学習の生物学	星 元紀
10月13日(木)～14日(金)	ダイナミクスからみた生命的システムの進化と意義	津田 一郎
10月28日(金)	産学連携の知的財産法モデル	北川 善太郎
10月28日(金)～29日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
11月10日(金)～11日(土)	コア・エグゼクティブと幹部公務員制度の研究	村松 岐夫
12月 1日(木)～ 2日(金)	量子情報の数理	大矢 雅則
12月 2日(金)～ 3日(土)	女性研究者と科学の未来	伊藤 厚子
12月10日(土)	スキルの科学 岩田一明	岩田 一明

2006年

1月10日(火)～11日(水)	ダイナミクスからみた生命的システムの進化と意義	津田 一郎
3月 3日(金)～ 4日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
3月 7日(火)～11日(土)	第8回コンピューショナル・マテリアルズ・デザインワークショップ	赤井 久純

●公開講演会

開催日	講演テーマ	講師
2005年10月15日(土)	時間は誰のものか～近世イギリス人の歴史観～	川北 稔 高等研フェロー・大阪大学名誉教授
2005年10月27日(木)	学際領域としてのスキルの科学～よりよく生き、活躍するために～	岩田一明 高等研特別委員 ・大阪大学・神戸大学名誉教授 他6名

お知らせ

所内案内板を設置

高等研も開所以来12年、年々研究活動が活発化してきました。昨年度は延べ1,100人以上の研究者の方々が研究会等に参加され、また公開講演会には毎回120名以上の方々が参加されています。来所される多くの方々が広い所内で迷うことがないように本年7月に、所内案内板を設置しました。次回お越しの際は目を留めてご覧ください。

所内案内板を正面玄関と研究棟入り口に設置
(写真は正面玄関内)



編集・発行者

財団法人 国際高等研究所

〒619-0225 京都府相楽郡木津町木津川台9丁目3番地
TEL: 0774-73-4001 FAX: 0774-73-4005
E-mail: editor@iias.or.jp
http://www.iias.or.jp